

日高山脈襟裳十勝国立公園が つなぐストーリーづくりワークショップ

～地域ならではの魅力を、みんなで**見つけ**、**つなぎ**、**伝えよう**～

皆さんは、この地域の「何がすごい？」と聞かれたら、どんなことを伝えますか？

2024年に誕生した「日高山脈襟裳十勝国立公園」。そこには、険しく原始的な日高山脈だけでなく、山から流れ出す川、広大な山麓、太平洋へと続く海岸、そして自然とともに育まれてきた人々の暮らしや文化があります。

けれど、その魅力やつながりは、まだ十分に言葉になっていません。

このワークショップでは、「インタプリテーション」の考え方を通して、

この地域の何が大切で、何を未来に伝えていきたいのかを、

地域みなさんと一緒に見つけ、日高山脈ならではの物語（ストーリー）としてつむいでいきます。



こんな方をお待ちしております

- 日高山脈が好きな方・地域のことをもっと深く知りたい方
- 活動を通じて地域の魅力や大切にしてきた想いを発信したい方
- 自然、歴史文化、農林漁業、教育、地域づくりなどに関わる方
- エリアや分野を越えて、新しいつながりをつくりたい方
- 関係自治体・行政機関の方



開催概要

広大な区域を3つ（日高エリア・えりもエリア・十勝エリア）に分け、各地域で魅力を掘り下げる「エリア別」と、地域を越えて国立公園全体のストーリーを考える「全体」を組み合わせで進めます。



● 全体キックオフ

9月16日（火）13:00～16:00 / 新ひだか町コミュニティセンター

国立公園の価値やインタプリテーションについて知り、地域を越えて、この国立公園で大切にしたいことを共有します。



● エリア別① 地域の魅力を深掘りしよう

- 十勝エリア 10月13日（月）13:30～16:00 / 十勝総合振興局講堂（帯広市）
- えりもエリア 10月14日（火）13:30～16:00 / 様似町中央公民館
- 日高エリア 10月15日（水）9:30～12:00 / とみくる（日高町富川）



● エリア別② 地域でどんな体験をしてほしい？

- 日高エリア 11月11日（火）9:30～12:00 / 新ひだか町コミュニティセンター
- えりもエリア 11月17日（月）13:30～16:00 / えりも町福祉センター
- 十勝エリア 11月18日（火）13:30～16:00 / 上札内交流館講堂（中札内村）



● 全体② 各エリアの資源と体験からストーリーをつむぐ

各エリアの資源と体験を持ち寄り、日高山脈のストーリーをつくってみたい

12月17日（木）13:00～16:00 / めむろーど（芽室町）



● 全体③ ストーリーを仕上げる・つないだ後を考える

つくったストーリーを、それぞれの仕事や活動でどう使っていくかを考えます

1月22日（金）13:00～16:00 /

新ひだか町コミュニティセンター・めむろーど

※日時・会場は現時点での予定です。今後、変更となる場合があります。

※基本の参加形態は、全体3回とエリア別2回ですが、複数エリアに参加することも可能です。

また、エリア別は、日高・えりも・十勝のうち、ご都合やアクセスに合わせて参加しやすい会場をお選びいただけます。

※全日程への参加が難しい場合も、ご都合のつく回のみ参加を歓迎します。

対象

日高山脈襟裳十勝国立公園に興味・関心のあるすべての方

観光・宿泊・飲食・ガイド・教育・アウトドア、農林漁業、自然、歴史文化、地域づくりを行う地域団体、観光協会、行政関係者など

参加申込みはこちら



要申込

参加無料

専門知識不要



運営：環境省北海道環境局・日本工営株式会社



講師：川嶋 直氏・古瀬 浩史氏・増田 由希子氏 / (一社)日本インタプリテーション協会



お問合せ：日本工営株式会社
担当：宇那木・白石・安原



011-557-8022 /
ml-hidakaNP-IP@dx.n-koei.co.jp

■ インタープリテーションって、何？

目に見えるものから、目に見えない意味や価値を伝える。

インタープリテーションとは、自然や歴史の情報を説明するだけでなく、その背景にある意味や物語を分かりやすく伝え、興味や理解、共感を深めるコミュニケーションの方法です。

例えば、いつも見ている日高山脈も「大陸プレート同士の衝突によって生まれた山並み」として伝えることで、ただ美しい山の風景から、大地のダイナミックな営みを感じる体験へとつながります。

【令和7年度は、北部地域で取り組みました】

昨年度は、日高山脈襟裳十勝国立公園の北部地域を対象に、地域のみなさんと2回のワークショップを開催しました。自然、風景、食、文化、歴史などの地域資源を出し合い、その魅力や伝えたいことを話し合い、「北部地域 小さなインタープリテーション計画～試行版～」としてまとめました。

今年度は対象を国立公園全域に広げ、この地域のみなさんと一緒に、さらにストーリーを深めていきます。

→ぜひご覧ください！

昨年度の取組は
こちら



■ なぜ、日高山脈襟裳十勝国立公園で インタープリテーションに取り組むの？

この地域の価値を、みんなで知り、守り、伝えていくために

日高山脈襟裳十勝国立公園は、とても広大です。

険しく原始的な山岳地域がある一方、アポイ岳のように登山を楽しめる場所、十勝平野などから山々を眺める場所、襟裳岬をはじめとする海岸地域があります。地域ごとに自然環境も、暮らしも、国立公園との関わり方も異なります。

今回は、「日高山脈との関わり」を共通のテーマとして、みんなでその魅力を出し合います。さまざまな人が知っていること、感じていることを持ち寄り、この国立公園だからこそその価値を共有します。新しい国立公園だからこそ、「何を大切にし、何を伝えていく国立公園にするのか」から、みんなで考えていきます。

■ どんなことに使える？

つくったストーリーは、日高山脈襟裳十勝国立公園の魅力を伝える「共通言語」として活かします。



観光協会・
DMO・行政

素晴やこリアを越えて魅力を共有し、周遊、地域回遊、情報発信、地域づくりへ。



ガイド・登山・
アウトドア

地名や動植物を説明するだけでなく、山の成り立ちや自然のつながりを伝え、心に残る体験へ。



宿泊・飲食・
観光施設

目の前の風景、食材、地域の歴史を国立公園の物語につなぎ、「滞在する意味」を伝える。



自然保護・
再生活動

地域で大切に続けられてきた活動の背景にある思いや意味、守り続けてきた価値を通して共感を生むきっかけに。



農業・林業・漁業

農林水産物を単なる「地域産品」としてではなく、自然や人、風、海の営みとのつながりから伝える。



学校・教育・
地域活動

子どもたちが自分たちの地域を知り、「自分たちの国立公園」として考える学習や地域活動へ。

みんなで、日高山脈の魅力を語り合いましょう。